

I. 事業活動の概況に関わる事項

1. 2020年度事業活動の概況

2020年度は、2030年ビジョン、第9次中期計画(2020～2022年度)を新たに定めて事業を展開しました。一方で、年度通して新型コロナウイルス感染症の影響を受けたことにより、当初計画していた事業の実施に支障が生じたものの、公開研究会の積極的な開催や独自調査活動の実施などを通して、活動の充実に努めました。

(1) 調査研究事業(公1)をすすめました。

① 常設の研究会

1) 人生100年時代における健康づくり研究会

(継続 委員長:山内明子 コープみらい常務理事)

- ・これまで個別に取り組まれていた生協の「健康づくり」活動について、人生100年時代における生協の今後の「健康づくり」の取り組みの発展方向をまとめることを目的に、2019年度より合計6回の研究会を開催しました。
- ・議論の取りまとめとして、2021年3月に「健康でありたいという願いによりそって～広げる、つなげる、生協ならではの健康づくり」と題する報告書を『生協総研レポート』No.95として発刊しました。
- ・この成果について、今後『生活協同組合研究』誌5月号の特集テーマとして取り上げるとともに、2021年8月に公開研究会を開催する予定です。

2) 生協共済研究会(継続 座長:岡田太 日本大学商学部教授)

- ・生協共済が組合員のくらしに貢献し、社会的な期待に応える事業に発展することに寄与するための研究を、中長期的な視点で進めることを目的に、5回の研究会を開催しました。
- ・研究会の14年間の研究活動の成果をもとに、現在の生協の共済事業について、理論的な課題と将来への展望、役割、期待などを整理した単行本『生協共済の未来へのチャレンジ(仮題)』の出版準備をおこないました(2021年5月発刊予定)。
- ・また関連企画として、2021年3月に学習会「ICMIF(国際協同組合保険連合)会員のCOVID-19の取り組みを学ぶ」を日本共済協会との共催で、15組織64名の参加を得て開催しました。

3) 生協論レビュー研究会(継続 座長:原山浩介 国立歴史民俗博物館准教授)

- ・第3期生協論レビュー研究会として若手研究員育成をテーマにメンバーを構成し、5回の研究会を開催しました。
- ・研究会の成果として、『生協総研レポート』No.93「(第3期)生協論レビュー研究会(中)」を2021年2月に刊行しました。

4) 2020年度開催を断念した研究会

- ・新型コロナウイルス感染症の影響等により、次の研究会について年度内の研究会開催及び立ち上げを断念しました。

大学生の読書を考える研究会（年度内開催断念）
若年層の生協利用に関する研究会（研究会自体を中断）
生協における高齢期の就労モデル構築に関する研究会（研究会立ち上げ断念）
これからの地域福祉のあり方と生協の役割についての研究会
（研究会立ち上げ断念）

② 調査活動

- 1) 生協総研独自調査「生協・コープの宅配の利用に関するアンケート調査」
新型コロナウイルス感染症拡大前後の生協利用の変化を把握することを目的として実施。
調査結果を取りまとめて、『生活協同組合研究』誌12月号及び公開研究会での結果発表
につなげました。
- 2) 医療福祉生協連委託 24時間蓄尿塩分調査
4～5年に1回の調査を受託し、集計及び分析をおこないました。
- 3) 日本生協連委託 全国組合員意識調査
2021年度調査実施となりますが、これに先立ち調査設計及び実施準備に関わる点を取
り組みました。調査対象生協が10生協増え、調査数も増加し、また回答でWebを選択でき
るように変更しました。

③ 学会等への参加状況

- 1) JCA 研究所交流会に茂垣事務局長・鈴木研究員が参加しました。
- 2) 日本流通学会に宮崎研究員（期中に茂垣事務局長へ交代）が関東甲信越部会の幹事と
して参加しました。
- 3) ロバート・オウエン協会の専務理事・年報編集主幹として鈴木研究員が運営参加し、理事
会、研究集会の開催に協力しました。生協総合研究所では、事務局業務を受託していま
す。
- 4) 医療福祉生協連の2030年ビジョン策定プロジェクト、及び理論政策小委員会の委員として、
鈴木研究員が協力しました。
- 5) 「地域ささえあい助成」（コープ共済連）の選考委員として近本研究員が参加しました。
- 6) SOMPO 福祉財団の「健康保険・介護保険システム研究会」に山崎研究員がゲスト研究員
として参加しました。
- 7) 研究員が参加している学会は、日本協同組合学会、日本社会学会、日本家族社会学会、
日本流通学会、日本フードシステム学会などです。

（2）編集・出版・広報事業（公2）をすすめました。

① 編集・出版事業について

- 1) 『生活協同組合研究』
・月刊誌として12冊を刊行しました。
- 2) 『生協総研レポート』
・年3冊を刊行しました。

②広報事業について

- ・2020年度版年次報告書「COVID-19下の暮らしと生協」を7月に刊行しました。
- ・ウェブサイトのトップページのリニューアルを実施し、視認性の向上を図るとともに、調査報告ページを新設しました(2021年2月)。
- ・ウェブサイトに Google アナリティクスを導入し、この結果に基づくウェブサイトのメンテナンスを継続しました。

③生協総合研究所ネットワークについて

メールマガジンを毎月定期発行しました。オンラインでの公開研究会の開催により登録者数は738名(2021年3月末)と前年度の526名から大きく増加しています。

(3) 教育・研修事業(公3)をすすめました。

① 全国研究集会

2020年度は、新型コロナウイルス感染状況を鑑みて、例年開催している全国研究集会の開催を見合わせました。

② 公開研究会

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、研究会活動が十分に展開できないことから、下期より公開研究会を、オンライン手段を活用して積極的に開催しました。合計13回開催で通算1,735名と、かつてない参加の広がりを作ることができました。参加者は、生協役職員のみならず、組合員や他の協同組合関係者の参加も増えました。また、オンライン開催とすることにより、全国各地から、または職場や自宅から参加できるようになり、今後の研究会等の開催のあり方につなげることができました。

回数	開催日	テーマ	参加者
1	4月4日	都市と若年世代の未来～生協はどのような地域連携に参加できるのか	60
2	8月27日	(第3期)生協論レビュー研究会から一現在へと続く生協のあゆみの 考証一	45
3	9月29日	人生100年時代の老後資金と資産運用－生協のライフプランアドバイ スの課題を考える－	215
4	10月15日	「労働者協同組合」を学ぶ	123
5	10月22日	新型コロナウイルス感染症と食料問題	93
6	11月12日	プラスチック汚染・脱プラスチック	131
7	11月20日	コロナ禍と生協～「生協らしいつながり方」の模索	229
8	12月8日	感染予防体制下での食生活の動向－家計と購買データをみる	112
9	12月25日	「労働者協同組合」を学ぶ～国際編	120
10	1月21日	新型コロナウイルス感染症影響下の地域における活動～組織の枠を 超えた医療生協の取り組み事例から～	132
11	2月12日	感染予防体制下での子どもの貧困	192
12	2月26日	新型コロナウイルス感染拡大前後の生協利用の変化	218
13	3月5日	生協総研賞第17回助成事業論文報告会	65

③ 生協総研賞

- ・くらしと生協についての研究と実践を推進することを目的として、2020年度は助成事業を行いました。
- ・第18回助成事業の募集を行い、51件(個人研究37件・共同研究14件)の応募がありました。選考委員による厳正な選考の結果、助成対象として個人研究6件、共同研究1件を決定しました。(助成対象研究は30ページをご参照ください)
- ・第17回助成事業対象者の最終報告論文集を2021年2月に刊行しました。
- ・第17回助成事業報告会を開催し、6件の報告が行われました。(2021年3月5日)

④ 「生協社会論」講座

- ・2020年5月、大東文化大学の前期正式カリキュラム・全学共通講座「2020年度現代社会の諸問題 A(生協社会論)」を開講しました。さまざまな学部からの履修者151名が受講し、全11回、7月22日をもって終了しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、すべての講義がオンライン講義となり、学生はオンデマンドで視聴する形式となりました。
- ・2021年度は、大東文化大学で全14回の講座として、対面授業にて実施中です。

(4) アジア生協協力基金・助成事業(公5)をすすめました。

① 2020年度国際協力助成企画

- ・日本生協連より助成対象6企画が推薦され、アジア生協協力基金運営委員会の承認を経て実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国大学生協連企画以外はすべて中止となり、助成金は予算600万円の内、7.6万円のみ執行されました。

② 2020年度一般公募助成企画

- ・2020年度一般公募助成企画は、23組織の応募があり、運営委員会にて書類選考、プレゼンテーション審査をおこない、8組織の助成を決定し、理事会で承認されました。
- ・こちらも新型コロナウイルス感染症の影響により、現地で計画通りの活動実施が難しい事例が複数発生したことから、運営委員会の決定を踏まえて、2021年度までの活動期間の延長と活動内容の変更を認めました。これにより4組織は年度内完了となりましたが、1組織が中止、3組織が期間延長となっています。2020年度の助成金は予算700万円に対し427万円の執行となりました。

③ 2021年度事業計画

- ・2021年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により、国際協力助成企画は1企画40万円のみ助成となりました。一般公募助成企画は、コロナ禍でも実施できると見込まれる8組織724万円の助成を決め、合計764万円の助成を行うことを決定しました。

④ 『アジア生協協力基金活動報告書2020』を刊行しました。

(5) 受託調査事業（収益事業等・収1）の実績です。

① 以下の調査を受託しました。

受託調査	委託元
ライフプランニング活動実態調査	コープ共済連
プライベートブランドに関する調査	コープこうべ
2020年度福祉サービス第三者評価(42事業所)	日本福祉サービス評価機構
日本生協連労組 家計簿調査	日本生協連労働組合
BDHQ・web システム(ID 登録、入力代行)	日本生協連

(6) 日本生協連「資料室」の管理（収益事業等・他1）を受託しました。

・引き続き日本生協連より資料室(プラザエフ5階)の管理を受託しました。

1. 『生活協同組合研究』

号数	特集タイトル
4月号(Vol.531)	日本の電力の未来
5月号(Vol.532)	日本の森林をどう育てるか? —私たちのくらしと森林、木材—
6月号(Vol.533)	医療生協の最新動向と身近なつながりの重要性
7月号(Vol.534)	買い物弱者問題を再考する
8月号(Vol.535)	戦争・被爆体験の継承
9月号(Vol.536)	プラスチック汚染・脱プラスチック
10月号(Vol.537)	ゲノム編集食品にどう対応すべきか
11月号(Vol.538)	地域連携の理論と実践 —行政・企業・大学をアクターに—
12月号(Vol.539)	新型コロナウイルス感染症と消費者の生活
1月号(Vol.540)	大規模化する災害への対処 —東日本大震災10年と感染症流行をふまえて—
2月号(Vol.541)	認知症高齢者の生活支援 —資産管理をめぐる課題と支援体制—
3月号(Vol.542)	食品ロス・食品廃棄物削減

2. 『生協総研レポート』

号数	タイトル
93号	(第3期)生協論レビュー研究会(中)
94号	各国における新型コロナウイルスと生協の対応
95号	「人生100年時代の健康づくり研究会」報告書 健康でありたいという願いによりそって ～広げる、つなげる、生協ならではの健康づくり～

3. 生協総研賞 第18回助成事業

＜個人研究＞	
学校資料による昭和期の漁村の生活実態復元 －高知県土佐清水市旧大津小学校資料を用いて－	楠瀬 慶太（高知工科大学地域連携機構 客員研究員）
家事育児分担の調整可能性に関する実証研究 －予期せぬ出来事に応じて夫妻の役割の変化に着目して－	孫 詩彧（北海道大学教育学研究院 学術研究員・専門研究員）
倫理的消費における信念形成過程の探究	井上 綾野（実践女子大学人間社会学部現代社会学科 准教授）
レジの省力化・効率化が知的障害者の消費行動に及ぼす影響	齋藤 大地（宇都宮大学 助教）
大規模災害時の孤立集落の発生・解消状況の空間解析と孤立時の課題	高柳 誠也（東京理科大学理工学部 建築学科 助教）
資源回収ステーションのリサイクル効率向上に関する研究 －みやぎ生協利用者の行動パターンの分析を事例に－	劉 曉玥（東北大学大学院国際文化研究科 博士後期課程）
＜共同研究＞	
障害学生に対する就職支援のあり方に関する一考察	西田 玲子（東京大学 特任研究員）

4. 「生協社会論」講座

於：大東文化大学

	開催日 (2020年)	テーマ	講師
第1回	5月13日	グローバル化する社会と協同	伊藤治郎(日本生協連)
第2回	5月20日	学生生活を取り巻くリスク	寺尾善喜(大学生協共済連)
第3回	5月27日	変わる大学生活	毎田伸一(全国大学生協連)
第4回	6月3日	平和を考える	福島加南子(日本生協連)
第5回	6月10日	誰もが安心してくらせる地域社会	前田昌宏(日本生協連)
第6回	6月17日	食の安全・安心	早川敏幸(日本生協連)
第7回	6月24日	地球環境問題に取り組む	新良貴泰夫(日本生協連)
第8回	7月1日	子育て支援	若松恵子(生活クラブ生協(東京))
第9回	7月8日	健康づくり	江本淳(医療福祉生協連)
第10回	7月15日	消費者力を高める	磯辺浩一(消費者機構日本)
第11回	7月22日	生協の現在と未来	新井ちとせ(コープみらい・日本生協連)

5. アジア生協協力基金

〈国際協力企画〉	
1	<p>全国大学生協連 ICA-AP 教育機関協同組合委員会／教育機関協同組合のワークショップ(開催地:韓国)</p>
〈一般公募企画〉	
1	<p>特定非営利活動法人イランの障害者を支援するミントの会 キャラジ市の障害児デイサービス支援事業 (相手国:イラン) 【新型コロナウイルス感染拡大による一部企画の延期】</p>
2	<p>特定非営利活動法人幼い難民を考える会 保育者の保育技術向上と運営メンバーの能力強化による「村の幼稚園」の自立支援 (相手国:カンボジア)</p>
3	<p>一般社団法人 Think Locally Act Globally スリランカにおける民族共生による貧困女性生計向上事業 (相手国:スリランカ) 【新型コロナウイルス感染拡大による企画の延期】</p>
4	<p>公益財団法人 PHD 協会 非感染性疾患予防のための地域保健ボランティアの育成と組織化 (相手国:インドネシア) 【新型コロナウイルス感染拡大による企画の中止】</p>
5	<p>特定非営利活動法人アーシャ=アジアの農民と歩む会 北インド農村女性の自立ための手工芸品マーケティングシステムの確立と生産・技術能力向上事業 (相手国:インド) 【新型コロナウイルス感染拡大による一部企画の延期】</p>
6	<p>認定特定非営利活動法人 ICA 文化事業協会 ネパールにおけるチャウパディ慣習の改善による女性の自立とエンパワメント (相手国:ネパール)</p>
7	<p>特定非営利活動法人アジアキリスト教教育基金 ノンフォーマル学校を通じたマイクロファイナンス・パイロットプロジェクトのための 貯蓄・融資グループ組織化・組織強化事業 (相手国:バングラデシュ)</p>
8	<p>特定非営利活動法人 Colorbath ネパール サルシュカルカにおける、コーヒー生産者組合の設立・運営支援を通じた コミュニティの経済力向上・人材育成プロジェクト (相手国:ネパール)</p>